



知識・技能

学ぶ意欲

問題解決能力

表現力

判断力

思考力

課題発見能力

学び方

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の実態を適切に把握する。 ○ 児童が主体的に学習できる環境づくりと資料の精選・発問の工夫を行う。 ○ 学力調査の結果を分析し、課題となる学力の定着を図るため、東京ベーシックドリルなどを活用し、児童の実態に即した指導を行う。 ○ 一人1台のタブレットを活用し、児童の能動的な学びを促し、主体的・対話的な深い学びによって、未来を創る資質や能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人が活躍し達成感あふれる行事の精選を通して、ゆとりある授業時数を確保する。 ○ 地域未来塾（はなまる教室）を活用して、補充学習に取り組む。 ○ PTAの読み聞かせを計画的に実施し、心の情操を図る。 ○ 学期末に個別指導日を設定し、放課後に学力補充等の個別指導を行う。 ○ 学校関係者評価、保護者の評価を生かして、教育課程を編成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内研究を充実させ、教員の指導力向上を図る。 ○ 児童の学習意識調査の結果等を活用しながら、授業改善推進プランの見直しと作成を行う。 ○ 「小中一貫教育の取り組みを通して作成した課題改善カリキュラムを活用して、教育活動を計画、実施する。 ○ 若手教員をはじめ全教員の指導力向上に向け、計画的に研究授業や校内研究、教員OJT研修会を実施する。一人一人が課題を把握しながら、業務及び授業改善につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価計画を踏まえた評価規準を作成する。 ○ 学校公開の設定と参観者アンケートにより、授業および学校教育活動についての外部評価を実施する。 ○ 児童による授業評価および意識調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科や総合的な学習の時間を中心に地域の人材を活用する。 ○ 学校評議員との連携により、学校改善を推進する。 ○ 青少年育成委員等の地域の方々を招いて道徳授業地区公開講座を開催する。 ○ 地域の人材を活かし、放課後の学習教室を、算数を中心に実施する。